日本キャリア教育学会　第 48 回研究大会

The 48th Conference of
Japanese Society for the Study of Career Education

大会プログラム

〈大会テーマ〉

ともに生きる未来を創るキャリア教育
～自らを活かし、社会をかたちづくる～



2026 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）
筑波大学・筑波キャンパス

日本キャリア教育学会　第 48 回研究大会

主催：　日本キャリア教育学会

共催：　筑波大学大学院教育学学位プログラム

協賛：　株式会社時事通信出版局

株式会社図書文化社

有限会社おきなわ教育ラボ

大会実行委員会：

実行委員長　藤田 晃之
実行委員　京免 徹雄
立石 慎治
松田 侑子
安里 ゆかし
Maya Kawtar
出原 幹大
Tanvir Hasan Chowdhury

時事通信社の教育書のご案内



「性的同意は世界を救う
子どもの育ちに関わる人が考えたい6つのこと」
斉藤 章佳 [著]・櫻井 裕子 [著]
性犯罪再犯防止プログラムにおける包括的性教育の取り組み
「性的同意は世界を救う」プロジェクト
子どもたちを性暴力の加害者にも、被害者にも、傍観者にもしないためには何が必要かを話し合うきっかけにしてもらいたい一冊。
四六判・並製・176頁
ISBN: 978-4-7887-2010-7
定価：¥1,980(税込)



「10代のための
「性と加害」を学ぶ本
暴力の「入口」「器っこ」「しくみ」を知る包括的性教育マンガ」
櫻井 裕子 [著]・斉藤 章佳 [著]
イゴカオリ [漫画]
子どもたちが自分も他人も大切にしながらよりよく生きられるようになるための「包括的性教育」の知見をベースに漫画した一冊。
A5 判・並製・184 頁
ISBN: 978-4-7887-2092-3
定価：¥1,870(税込)



「10代のための
性の世界の歩き方」
櫻井裕子 [著]・イゴカオリ [漫画]
10代に向けたリアルな性教育のニーズは非常に高まっています。
教育現場で10代向けの性教育を多数実践してきた助産師が、現代の子どものリアル・実態に即した性の知識を漫画で伝えます。
A5 判・並製・176 頁
ISBN: 978-4-7887-1870-8
定価：¥1,650(税込)



奇跡のフォント
高田裕美 [著]
「俺バカじゃなかったんだ」。
書字障害の子どもが読めた「UD フォント」を開発した書体デザイナーが、試行錯誤と工夫を明かす。
読み書き障害でも読みやすいフォントが生まれるまでのノンフィクション!
四六判・240 頁
ISBN 978-4-7887-1871-5
定価：¥1,980(税込)



見え方の困り事って
こういうことだったのかドリル
真村哲人 [監修]
高田裕美・澤田圭 [著]
学習障害、色覚障害、ロービジョンなどで、学習に困難さを感じている子どもたちが抱えている課題を理解し、支援の方法を探る本です。
B5 判・144 頁
ISBN 978-4-7887-2113-5
定価：¥2,420(税込)
最新刊



とびこえる教室
星野俊謙 [著]
男子が殴らかし女子が片づけ、それを容認する大人…
学校のジェンダー不平等に「おかしくない?」と子どもに問い続けた教師の実践の記録
「ふつう」とは何かを問い直しながら、子どもたちが自分らしく生きるために、教師として何ができるのかを考えてく。
四六判・264 頁
ISBN 978-4-7887-2049-7
定価：¥1,870(税込)

時事通信出版局 〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 TEL: 03-5565-2155 URL: https://bookpub.jiji.com
お求めは書店・ネット書店へ ＊電子書籍も好評販売中!

社会正義のキャリア支援

個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ

四六判，344頁　定価（本体2,700円＋税）

下村英雄（労働政策研究・研修機構統括研究員，前日本キャリア教育学会会長）　著



いま，全世界で広がりつつある，
社会正義＝社会的公正を実現するキャリア支援。
本邦初の本格的な概説書。

目次

序章　社会正義のキャリア支援とは
1章　欧州キャリアガイダンス論
2章　多文化キャリアカウンセリング論
3章　社会正義のカウンセリング論
4章　3つの可能なプラクティス①
　　——深い意味でのカウンセリング
5章　3つの可能なプラクティス②
　　——エンパワメント
6章　3つの可能なプラクティス③
　　——アドボカシー
終章　社会正義の実践に向けて

SOCIAL JUSTICE

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
http://www.toshobunka.co.jp/

図書文化

TEL. 03-3943-2511　FAX. 03-3943-2519

目次

1. 大会日程 1
2. 参加要領 3
3. 発表要領 4
4. 基調講演 5
5. 大会実行委員会企画シンポジウム.....6
6. 会員企画シンポジウム.....7
7. 個人研究発表（口頭発表）.....12
8. 個人研究発表（ポスター発表） 22

1.　大会日程

1 日目：2026 年 11 月 14 日（土）

9:00〜	キャリア・カウンセラー研修講座　受付	2A309
9:15〜12:30	キャリア・カウンセラー研修講座	2A309
12:00〜	受付	3A203
13:00〜13:30	開会式	3A204
13:30〜15:00	基調講演 「外国につながる若者のキャリア支援を、若者とともに問い直す―分断・排除のなかで」 講演者：徳永 智子（筑波大学 人間系 准教授）	3A204
15:00〜15:10	休憩	
15:10〜16:40	大会実行委員会企画シンポジウム 「次期学習指導要領に基づくキャリア教育の方向性」 登壇者：上原 智光（石川県教員総合研修センター 指導主事） 京免 徹雄（筑波大学 人間系 准教授） 小見 まいこ（NPO 法人みらいず works 代表理事） 佐藤 学（文部科学省初等中等局 教育課程課 教科調査官／国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官） ファシリテーター：藤田 晃之（筑波大学 人間系 教授）	3A204
16:40〜16:50	休憩	
16:50〜17:50	2026 年度定期総会	3A204
17:50〜18:00	移動	
18:00〜20:00	教育研究懇談会	1A203・1A204 （Soup Factory）

2 日目：2026 年 11 月 15 日（日）

8:45～	受付	2A215
9:00～10:30	個人研究発表（口頭発表）分科会 1～5	2A303, 2A304, 2A309, 2A409, 2A410
10:30～12:00	ポスター発表 第 1 部	2A308
	会員企画シンポジウム①②	3A207, 3A209
10:40～12:10	個人研究発表（口頭発表）分科会 6～10	2A303, 2A304, 2A309, 2A409, 2A410
12:10～13:30	昼食	
13:30～15:00	個人研究発表（口頭発表）分科会 11～15	2A303, 2A304, 2A309, 2A409, 2A410
	ポスター発表 第 2 部	2A308
	会員企画シンポジウム③④	3A207, 3A209
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:40	個人研究発表（口頭発表）分科会 16～19	2A303, 2A304, 2A309, 2A409, 2A410
	会員企画シンポジウム⑤	3A207

【会場マップ】



2.　参加要領

(1) 参加申込方法と参加費

大会参加ならびに教育研究懇談会のお申込み・お支払いは、**2026 年 10 月 30 日（金）17 時**までに、下記 URL から行ってください。なお、**いかなる場合も、当日参加のお申込みはお受けできません。**ご理解賜りますようお願いいたします。

【参加申込・支払いページ】https://jssce2026.peatix.com

【大会参加費】一般会員：6,000 円、学生会員：3,000 円、非会員：8,000 円

【教育研究懇談会費】5,000 円

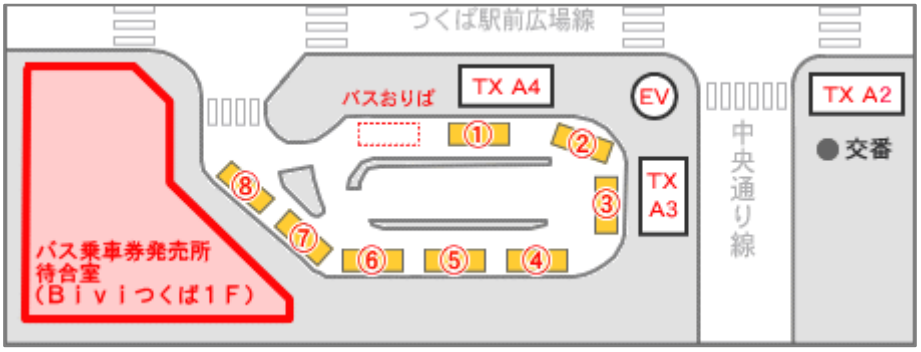
(2) アクセス

つくば駅に隣接するバスターミナル「つくばセンター」でバスをご利用いただけます。

⑥のバス停から（下記の図を参照）、筑波大学循環（右回り）または筑波大学循環（左回り）にご乗車ください。会場最寄りのバス停は「筑波大学中央」です。

▶バスの時刻表は　こちら

▶各種交通手段別のアクセスについては　こちら



つくばセンター　バス乗り場

(3) 領収書について

研究大会の運営における省力化に向け、今大会では、領収書の発行を各自 Peatix 上で行っていただくことといたしました。ご所属先での会計手続き上、学会印が印字された領収書を必要とされる場合は、当日発行いたしますので、お申し出ください。

(4) 問い合わせ先

日本キャリア教育学会第 48 回研究大会実行委員会事務局

【所在地】筑波大学 人間系学系棟 （〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1）

【連絡先】E-mail: jssceconference@gmail.com

3. 発表要領

(1) 口頭発表

「発表論文集への論文掲載」、「発表」、「質疑への応答」の三つの条件を全て満たすことにより公式発表と認められます。発表及び質疑応答の時間は、入替の時間も含めて、下記の通りです。各分科会会場にて、休憩時間とあわせてご調整くださいますよう、お願いいたします。英語セッションも同様です。

○各発表者の持ち時間……23 分間

－発表時間……15 分間

－質疑応答……8 分間

(2) ポスター発表

「発表論文集への論文掲載」、「発表時間中のポスター掲示」、「責任時間の在席」の三つの条件を全て満たすことにより公式発表と認められます。発表（ポスター掲示）時間、ならびに在席責任時間は、下記の通りです。また、発表（ポスター掲示）時間が終わりましたら、各自でポスターを回収し、お持ち帰りいただきますようお願いいたします。回収されなかったポスターは、実行委員会で回収・破棄しますので、予めご了承ください。

○発表（ポスター掲示）時間…… 90 分間

○在席責任時間…… 発表開始時刻から 60 分間

(3) 会員企画シンポジウム

シンポジウムの時間は 90 分です。この時間内での時間配分は、お任せいたしますが、開始・終了時刻は厳守いただきますようお願いいたします。会場が個人研究発表とは別の建屋となりますことを、予めご了承ください。

(4) 設備

会場の広さには若干の相違がありますが、ご了承ください。発表会場の常設機器は、プロジェクター（HDMI 及び RGB 接続）のみとなります。パソコンや変換アダプタは、各自でご準備ください。教育研究機関関係者は eduroam の無線 LAN アクセスポイントをご利用いただけます。ゲスト用 Wi-Fi はご用意いたしませんので、事前に eduroam にご登録いただく等、各自でご用意くださいますようお願いいたします。

(5) 資料

発表論文集は、研究大会ウェブサイトからダウンロードできるようにいたします。当日配布される資料につきましては、各自でご準備ください。

4.　基調講演

大会１日目　13:30〜15:00（会場　3A204）

外国につながる若者のキャリア支援を、若者とともに問い直す
—分断・排除のなかで

講演者：　徳永 智子（筑波大学 人間系 准教授）

要旨

日本の学校や地域で育ち、学ぶ外国につながる子ども・若者が増加するなか、かれらのキャリア形成をどう支援するかが大きな課題となっている。文部科学省の調査では、日本語指導が必要な高校生は、全国の高校生と比べて高校中退率や非正規就職率が高く、大学等への進学率が低いことが示されており、特に高校段階以降の進路保障が求められている。

報告者は、民主的な「知」の産出を目指す参加型アクションリサーチ（PAR）のアプローチから、外国につながる若者や教師、支援者、大学生と協働し、高校での居場所づくりやエンパワメントに取り組んできた。また、日本とアメリカの移民学生とともに、学生支援のアドボカシー活動も行っている。本講演では、これらの実践をふりかえり、若者とともに活動することで見えてきた、外国につながる若者のキャリア支援の課題と展望について考える。さらに、実践のなかで生まれた葛藤や矛盾にも触れながら、若者自身の経験や「知」を起点として、外国につながる若者とともにキャリア支援を構想することの意味を考察する。

5.　大会実行委員会企画シンポジウム

大会 1 日目 15:10～16:40（会場　3A204）

次期学習指導要領に基づくキャリア教育の方向性

登壇者：　上原 智光（石川県教員総合研修センター 指導主事）

京免 徹雄（筑波大学 人間系 准教授）

小見 まいこ（NPO 法人みらいず works 代表理事）

佐藤 学（文部科学省初等中等局 教育課程課 教科調査官／

国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官）

ファシリテーター：藤田 晃之（筑波大学 人間系 教授）

企画： 日本キャリア教育学会 第 48 回研究大会実行委員会

企画趣旨

文部科学省では、次期学習指導要領等に向けた改善の方向性等について、2024（令和 6）年 12 月に中央教育審議会に諮問を行い、同審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会において専門的な審議が進められてきた。そして、本年（2026 年）10 月 5 日、教育課程部会は「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（以下、「審議まとめ」）を公表した。本「審議まとめ」は、パブリックコメントなどを踏まえて最終調整され、今年中に、次期学習指導要領の方向性を具体的に指し示す中央教育審議会答申として取りまとめられる予定である。

一方、「審議まとめ」では、デジタル学習基盤の整備等を勘案した上で「キャリア・パスポート」の見直しを図る方針や、「基礎的・汎用的能力」を学習指導要領が掲げる資質・能力との関連の中で分かり易く整理する方向性などが示されている。現在、それらに関する様々な解釈がなされ、憶測を呼んでいることも事実であろう。

よって、今回の大会企画シンポジウムにおいては、教育課程部会の中でも中核的な役割を担う教育課程企画特別部会及び総則・評価特別部会の委員を務めた小見まいこ会員、次期学習指導要領においてもキャリア教育の「要」となる特別活動の在り方について審議を重ねてきた特別活動ワーキンググループにおいて主査代理を務めた京免徹雄会員、国立教育政策研究所等によるキャリア教育に関する各種の全国調査の実施・分析にも携わってきた上原智光会員に加え、文部科学省によるキャリア教育推進施策を牽引するお一人である佐藤学氏にご登壇いただき、次期学習指導要領に基づくキャリア教育の方向性について幅広く検討していきたい。

6.　会員企画シンポジウム①

大会 2 日目　10:30〜12:00（会場　3A207）

当事者と考える障害を持つ児童生徒のキャリア支援

話題提供：　伊藤 迅（中部学院大学大学院修士課程）
　　高橋 玲子（東京大学教育学部）
　　金井 明日香（東京大学大学院博士課程）
　　高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）
司会：　　高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）
企画：　　高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）

企画趣旨

本学会のミッション・ステートメントは、「キャリアの構築を阻害する格差、差別や排斥など、社会正義の観点から新たに取り組む課題が明確となってきている」との前文のもと、学会のミッションの一つを「教育や労働における多様性、公平性、公正性を求める社会正義の問題を取り扱う研究活動および実践活動を行うこと」と定めている。

本学会が求める社会正義の理念に基づき、本シンポジウムでは、障害を持つ児童生徒に対するキャリア支援の在り方について議論を行う。登壇者の伊藤迅氏（中部学院大学大学院修士課程）は脳性まひを持つ障害当事者であり、高橋玲子氏（東京大学教育学部）は障害を持つ子どもを育てる母親である。両氏からは、当事者としての経験や問題意識、それらと結びついた研究内容についてお話し頂く。金井明日香氏（東京大学大学院博士課程）は障害を持つ児童生徒のキャリア教育について、教育社会学的な視点から研究に取り組んでおり、研究内容も交えて発題をして頂く。フロアとの議論も交えながら、障害を持つ児童生徒に対するキャリア支援の在るべき姿に迫りたい。

6.　会員企画シンポジウム②

大会 2 日目　10:30〜12:00（会場　3A209）

インクルーシブなキャリア教育の再設計
―連携が学びを生み、制度化され、評価される仕組み―

話題提供：　新路 好実（大阪府教育庁）
　　戸谷 健史（信州大学学術研究院）
　　中島 弘和（元国立都城工業高等専門学校）
指定討論者：武澤 友広（障害者職業総合センター）
司　会：　中島 弘和（元国立都城工業高等専門学校）
企画者：　中島 弘和（元国立都城工業高等専門学校）

企画趣旨

今日のキャリア教育には、個人の進路選択を支援するだけでなく、多様な学習者が他者と共に参加し、役割を担い、その経験を将来の社会参加へ結び付ける学習機会の設計が求められる。連携はその可能性を具体化する一方、交流だけで相互の学びや制度化が実現するわけではない。

本シンポジウムでは、大阪府における共生推進教室の制度設計、信州大学教育学部附属長野三校における小・中・特別支援学校の組織的協働、高等支援学校と高等学校の学校間連携における越境学習を取り上げる。三報告を、学習者の役割・関係性の変容、それを支える制度的・組織的条件、成果を改善へつなぐアセスメントの観点から比較する。

指定討論では、本人の希望・ニーズ、強み、環境との相互作用を捉える協働的アセスメントにより三報告を統合する。連携が停滞する条件や制度化に伴う緊張も検討し、インクルーシブなキャリア教育を持続可能にする原理と実装条件を提示する。

6.　会員企画シンポジウム③

大会 2 日目　13:30～15:00（会場　3A207）

キャリア教育温故知新
－職業指導、進路指導から改めて学ぶことー

話題提供：　三村 隆男（早稲田大学）
菊池 武剋（東北大学）
坂井 貞雄（埼玉県伊奈町教育委員会）　三村代読
渡部 昌平（秋田県立大学）
高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）

司会：　高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）

企画：　三村 隆男（早稲田大学）
渡部 昌平（秋田県立大学）
高野 慎太郎（東京大学教育学部附属中等教育学校）

企画趣旨

キャリア教育が提唱されて 27 年、職業指導・進路指導時代を含めると 100 年以上の歴史がある。入沢宗寿が１９１５年に『現今の教育』で最初に職業指導（Vocational Guidance）に触れた。その後、大阪市立児童相談所（1919）で職業指導の取組が始まり、大阪市立少年職業相談所（1920）が設立され、職業紹介行政による年少者の移行支援が先行した。それに続いて、1927 年には文部省訓令「児童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ関スル件」が発出され、学校教育に職業指導が求められた。職業指導は、移行支援の社会制度の先行で始まった。

「キャリア教育」とは一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育であるとされる。こうした現代の「キャリア教育」だが、果たして職業指導・進路指導から何が継承され、何が失われたか。温（ふる）きを故（たず）ね、学ぶ必要はないか。過去と比較して問題はなくなっているのか。

このシンポジウムでは職業指導・進路指導から学び、比較し、現代のキャリア教育のさらなる在り方について、フロアとの情報・意見交換を通じて検討していきたい。

6.　会員企画シンポジウム④

大会 2 日目　13:30〜15:00（会場　3A209）

思考は、本人の言語で行われる
－言語意味抽出傾向から内界情報を読み取る試み　その有効性と限界－

話題提供：　林 克哉 （有限会社フォスター）

　　辻田 耕心（習志野市教育委員会）

　　三浦 優良（有限会社フォスター）

指定討論者：小西 順人（山梨学院大学）

司会：　　三浦 優良（有限会社フォスター）

企画：　　林 克哉 （有限会社フォスター）

企画趣旨

キャリア教育の現場で、支援者は「あなたの強みは何か」と問う。対象者の多くは答えられず、答えられても借りた言葉になりやすい。しかしこれは答える側だけの問題ではない。問う側も、決めつける構えであれ全面的に受け入れる構えであれ、相手の反応を予見し、あるいは期待された役に応じて、借りた視点をまとう。本企画はこれを能力不足ではなく、双方が答えを先に持つ構造として捉え直す。

人物は従来、準備度・人物特性・経歴の三つで見られ、人物特性だけは測る方法が確立されず、評価者の印象に委ねられてきた。企画者は四十年人物試験を研究し、三十年論作文と面接を指導してきた。そこで、人物特性は用いる言語の意味や価値づけの傾向に現れることに気づいた。

失敗や挫折を語る場面では、言葉の位相――思考が置かれている状態――が大きく動く。既存のアピール形式は借りられるが、最も心が揺さぶられた瞬間の記憶には、サンプリングが入り得ないためである。

本企画では、企画者に加え、高校生のときに本手法を受け現在は運営に携わる者と、大学生のときに受け現在は教育行政に携わる者が報告する。そのうえで指定討論者に、本手法の限界を問うていただく。

6.　会員企画シンポジウム⑤

大会 2 日目　15:10〜16:40（会場　3A207）

全国調査「令和７年度キャリア教育に関する総合的研究」の分析結果からみえた現状と展望

話題提供：　京免 徹雄（筑波大学 人間系）
山田 亮（東洋英和女学院大学 人間社会学部）
峯村 恒平（目白大学 人間学部）
藤田 駿介（流通経済大学 共創社会学部）
望月 由起（日本大学 文理学部）

指定討論者：藤田 晃之（筑波大学 人間系）

司会：　望月 由起（日本大学 文理学部）

企画：　望月 由起（日本大学 文理学部）

企画趣旨

文部科学省及び国立教育政策研究所では、キャリア教育に関する実態を把握するとともに、教師及び児童生徒の意識等も明らかにし、今後の各学校におけるキャリア教育の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、おおむね７年に１度、全国調査を実施している。

最新の調査は、中央教育審議会における次期学習指導要領に向けた検討や議論を背景として、前回調査（２０１９年実施）と同一の学習指導要領の下で実施された。各学校や地域の実態に応じた効果的なキャリア教育のより一層の推進・充実に資することを目的として、2025 年 7 月から 8 月にかけて調査が行われ、その分析結果は 2026 年 1 月に『令和 7 年度キャリア教育に関する総合的研究 第一次報告書』として公表された (https://www.nier.go.jp/_uploads/2026/01/zentai.pdf)。また、2026 年 10 月には『令和 7 年度キャリア教育に関する総合的研究 第二次報告書』の公表が予定されている。

本シンポジウムでは、当該調査の設計・分析・報告書作成に携わった研究者が登壇し、分析結果から特に強調したい内容について報告をおこなう。今後のキャリア教育の在り方や展望について参加者とともに議論し、その充実に向けた方向性を探る機会としたい。

7. 個人研究発表（口頭発表）

分科会 1（09:00〜10:30）　会場：2A303

座長：新井 立夫

順	発表題目	発表者	所属
1	双生児の持つ職業興味に関する試行的研究：職業レディネス・テストとアクティヴ・インタビューの結果から	高野 慎太郎 根子 雄一朗	東京大学教育学部附属中等教育学校 双生児研究委員会
2	青年の大学選択時の親子間コミュニケーションは志望大学選択動機と入学後の適応にいかに関わるか	師岡 あゆみ	お茶の水女子大学大学院
3	社会的動機の様式（利己性・利他性・集団性・原理性）におけるキャリア選択の分析 ―大学 1 年生のキャリア選択の動機・認知様式と規範意識に着目して―	新井 立夫	文教大学

分科会 2（09:00〜10:30）　会場：2A304

座長：三村 隆男

順	発表題目	発表者	所属
1	学校から仕事への移行支援としての職業実習 ―1940 年日本電気『高等小学校生徒夏期実習日記』の分析―	三村 隆男	早稲田大学
2	韓国中学校における職業・進路に関する教育の教育課程上の形成過程 ―教育目標・志向と教育課程上の構成要素の形成時期に着目して―	峯 啓太朗	東海大学
3	高卒就職における一人一社制の功罪 ―工業高校の卒業生・教師の語りに着目して―	池田 了哉	筑波大学大学院

分科会 3（09:00〜10:30）　会場：2A309

座長：京免 徹雄・望月 由紀

順	発表題目	発表者	所属
1	キャリア教育におけるカリキュラム研究の試案 ―総合的な探究の時間を対象にした基礎研究―	胡田 裕教	滋賀県立大学
2	フランス中等教育におけるキャリア専門職の役割とアイデンティティ ―教師との協働に着目して―	京免 徹雄 永作 稔	筑波大学 武蔵野大学
3	アカデミック・インターンシップが進路意識の形成に与える影響 ―宮城県仙台向山高等学校を事例として―	早坂 晴子 峯村 恒平 藤田 駿介	宮城県仙台向山高等学校 目白大学 流通経済大学
4	女性活躍推進事業における大学生のキャリア学習 ―企業との対話による自己理解と働き方理解の広がり―	鴨谷 香	滋賀大学

分科会 4（09:00〜10:30）　会場：2A409

座長：渡部 昌平・石嶺 ちづる

順	発表題目	発表者	所属
1	学生の自己開示への抵抗をゆるめる方法に関する探索的研究 －大学生に対する意識調査から－	渡部 昌平	秋田県立大学
2	国家資格キャリアコンサルタントとは何か ―生成過程が映し出す変容―	宮田 弘一	静岡産業大学
3	中学校・高等学校のキャリア教育におけるキャリアコンサルタントの役割と位置づけ ―2008・2009 年度キャリア・コンサルティング研究会報告書に示された構想―	長谷川 涼	筑波大学大学院
4	制約下で形成された子どもの見解を介入判断でどう扱うべきか ―ヤングケアラーへのキャリア支援に即して―	出原 幹大	筑波大学大学院

分科会 5（09:00〜10:30）　会場：2A410

座長：鈴木 映司・河﨑 智恵

順	発表題目	発表者	所属
1	高校生における境遇活用スキルの発達的変化 ―3 年間の縦断調査からみた高校 2 年次の特徴―	鈴木 映司	玉川大学／広尾学園
2	境遇活用スキルと就業意図の関連を媒介するアントレプレナー志向性 ―キャリア上の立場による媒介効果の検討―	杉本 英晴	関西大学
3	担任でない教師と学ぶ経験の意味 ー教科担任制における児童の語りからー	上山 那々	大阪府公立小学校
4	総合的な探究の時間は生徒のキャリアにつながるのか ―高校生による総合的な探究の時間と進路の意味づけから考察する―	酒井 淳平	立命館宇治中学校・高等学校

分科会 6（10:40〜12:10）　会場：2A303

座長：山田 智之・永作 稔

順	発表題目	発表者	所属
1	学校教育におけるキャリア教育の実際 ―ある中学校での実践から考えるキャリア教育の構築の仕方―	佐藤 彰良	旭川市立六合中学校
2	キャリア教育の捉え方が各教科の取り組みや教育課程の編成に与える影響	山田 智之	上越教育大学
3	小学校におけるキャリア教育の組織的な推進に関する検討 ―X 県 Y 小学校における３代の校長のインタビューから―	安里 ゆかし 才鴈 武也 峯 啓太朗	筑波大学 流通経済大学 東海大学
4	地方進学校における進路指導を問い直す ―「自分らしい生き方の実現」に向けたアスピレーションの調整過程に着目して―	瀬古 凪沙	筑波大学大学院

分科会 7（10:40～12:10）　会場：2A304

座長：彌島 康朗

順	発表題目	発表者	所属
1	自律的な「生き方・在り方」学修の可能性Ⅶ ―自己調整の拡張―	柳瀬 啓史	元公立小学校教諭
2	グループワークでのＡＩ活用 ―コンピテンシーベースの指導と評価―	彌島 康朗	敬愛大学
3	高校生の入学以後のキャリア意識・変容に関する研究 -レジリエンスの観点から-	井川 智嗣	三重大学大学院

分科会 8（10:40～12:10）　会場：2A309

座長：清水 克博

順	発表題目	発表者	所属
1	高校生のキャリア意識の形成における経験と内省の構造的変容 ―キャリア・ポートフォリオを媒介とした経験学習モデルのパス解析―	清水 克博 胡田 裕教 角田 寛明 岩城 祥子	名古屋学芸大学 滋賀県立大学 東北学院大学 呉市教育委員会
2	ドイツ・ギムナジウムにおける実習（Praktikum）の選択肢拡大の動向 ―「大学実習」の制度的位置づけに着目して―	藤田 駿介	流通経済大学
3	島根県内高等学校における「キャリア・パスポート」活用の実態と課題 ―高校１年生の保持と振り返りに着目して―	丸山 実子 伊藤 由実子	島根大学 島根県教育庁学校教育課

分科会 9（10:40〜12:10）　会場：2A409

座長：小山 知子

順	発表題目	発表者	所属
1	企業課題解決型 PBL における外部評価の経験と予期的社会化 ―ビジネスプランコンテスト決勝進出者に着目して―	髙濱 優子	京都文教大学
2	スチューデントサクセスを支える教職員の学生への関わり方 ―卒業生へのインタビュー調査から―	小山 知子 杉本 英晴	淑徳大学 関西大学
3	大学職員との協働による初年次教育実践の改善 ―「大学環境調査」における職員フィードバックの観点から―	中西 絵美	敬愛大学

分科会 10（10:40〜12:10）　会場：2A410

座長：小澤 昌之

順	発表題目	発表者	所属
1	職業体験活動がキャリア形成を促進する規定要因 ―「北九州ゆめみらいワーク 2025」効果検証調査をもとに―	小澤 昌之 坂井 裕紀 岩下 好美 酒井 綾菜 藤本 徹	東京通信大学 東京大学 KCJ GROUP 株式会社 KCJ GROUP 株式会社 東京大学
2	循環型地域キャリア支援基盤の形成可能性と参画条件 ―みよしキャリアフォーラム創設期の予備調査から―	村瀬 悟 山本 悠馬	愛知県みよし市立南中学校 静岡大学大学院
3	AI 時代における自己との対話を促すキャリア教育の実践 ―LetterMe プログラムの取り組みを通じて―	本庄 麻美子 西村 静香	和歌山大学 株式会社 LetterMe

分科会 11（13:30〜15:00）　会場：2A303

座長：高綱 睦美

順	発表題目	発表者	所属
1	外国ルーツ学生の就職活動における「相互評価の不確実性」 ―自己の位置づけと企業からの評価に着目して―	香川 愁吾	大阪国際大学
2	外国ルーツの若者に対するキャリア形成支援 ―日本語教育を通じたキャリア教育教材・評価指標の開発と検討―	高綱 睦美 牧野 佳奈子 佐野 香織 惟任 将彦 和田 貴子	中京大学 一般社団法人 DiVE.tv 武蔵野大学 大阪 YMCA 学院 京都精華大学
3	移民 1.5 世代のキャリア発達の一事例 ―ボランティア活動と日本語学習の意味づけ―	藤井 みゆき	太成学院大学

分科会 12（13:30〜15:00）　会場：2A304

座長：田澤 実・白木 みどり

順	発表題目	発表者	所属
1	大学における観光人材育成の現状 ―カリキュラムの実質性からみた教育体制の検証―	佐藤 美輪 小形 美樹	仙台青葉学院短期大学 仙台白百合女子大学
2	計画的偶発性理論に基づく初年次キャリア教育の実践 「一歩踏み出す」を支える未完成なキャリア・ナラティブと小さな行動実験	泉 洋介 小山 理子	三菱電機株式会社 桃山学院大学
3	キャリア教育における学びの深化と自己評価の変化 ―回顧的プレテスト，ポストテスト，フォローアップテストからみる授業間のレスポンスシフト―	小菅 清香	駒沢女子大学
4	大学生が企画・実施するキャリア教育実習における KMQT を用いた共同的リフレクション ―「モヤモヤ」から探究の問いへ―	田澤 実	法政大学

分科会 13（13:30〜15:00）会場：2A309

座長：濱崎 あゆみ・竹本 由香里

順	発表題目	発表者	所属
1	中高生による社会課題探究がキャリア発達に及ぼす可能性 ―探究活動における能力・態度の変化から―	西田 将浩	オーケス株式会社
2	若者は自らの「社会」の捉え方をどのように認識するのか ―インタビューワークと AI による振り返りを通じた自己理解促進の検討―	下地 美也子	千葉経済大学
3	大学キャリア教育における生成 AI フィードバックとペアワークの実践評価 ―事後アンケート調査に基づく学生の認識と自己評価―	濱崎 あゆみ 稲田 環菜 合田 美子 喜多 敏博	明海大学 明海大学 熊本大学 熊本大学
4	生成 AI との対話は自己理解に何をもたらすか ―Human-AI Interaction の視点からみた学生の認識と AI との役割分担―	神野 河彩子 佐藤 桂輔	茨城工業高等専門学校 茨城工業高等専門学校

分科会 14（13:30〜15:00）会場：2A409

座長：高丸 理香

順	発表題目	発表者	所属
1	共働き夫婦ペアデータからみる仕事と生活の満足度	高丸 理香	大妻女子大学
2	大学生の SNS 利用とキャリア関連意識・行動の関連 ― SNS プラットフォームの違いに着目した社会調査データの二次分析―	土澤 優里	慶應義塾大学大学院
3	キャリア教育と性差別主義 ―現代的性差別主義と古典的性差別主義の違いに着目して―	九鬼 成美	東京大学大学院

分科会 15（13:30～15:00） Room：2A410

Moderator：Okabe Atsushi, Ieshima Akihiko

順	発表題目	発表者	所属
1	Rethinking Equity in Upper Secondary Education: Educational Opportunity and Transition Support in Three Alternative Pathways in Japan	Okabe Atsushi	Seisen University
2	Career Aspirations and Agency among First-Generation Syrian Migrants with Higher Education Experience in Japan: An Interpretative Phenomenological Analysis	Maya Kawtar	University of Tsukuba, Graduate School of Comprehensive Human Sciences
3	Career Education Policy in Korea and the Role of the National Career Education Research Center	Kim Nara	Korea Research Institute for Vocational Education and Training
4	Reconceptualizing Career Education from an Education-Intrinsic Perspective Beyond Instrumental Competencies: Education as a Form of Life for a Shared Future	Han Sooyoun	Seoul Institute of the Arts, South Korea

分科会 16　（15:10〜16:40）　会場：2A303

座長：ライアン 優子・中島 弘和

順	発表題目	発表者	所属
1	越境的学習経験は進路意思形成をいかに媒介するか ―時間統治の再編と主体化の制度的条件―	中島 弘和	元国立都城工業高等専門学校
2	特別支援学校高等部におけるキャリア教育を通したキャリア・パスポート等の事例についての考察	青野也 寸志	宮城県立支援学校岩沼高等学園
3	イングランドの学校経営とキャリアリーダーの配置・活動体制	ライアン 優子	静岡大学
4	要支援人材の能力発揮を支える動機形成 ― 特例子会社における支援実践に着目して ―	中山 浩子	兵庫教育大学連合学校

分科会 17（15:10〜16:40）　会場：2A304

座長：上井 靖

順	発表題目	発表者	所属
1	デンマークにおけるキャリア学習理論の普及 ―国民学校教員養成課程と基礎自治体の総合計画における扱いに着目して―	吉川 実希	関西外国語大学・筑波大学大学院
2	キャリア教育における「伴走・自走モデル」の構築と展開 〜名古屋市立明治小学校のキャリアタイム実践と3つの伴走フェイズ〜	上井 靖 大橋 史人 諏訪 沙也加	愛知みずほ大学・名古屋市教育委員会キャリア教育推進センター 名古屋市立明治小学校 名古屋市立明治小学校
3	地域での対話と実践を通じた高校生のキャリア観の変容プロセス ―益田市「ライフキャリア教育」経験者の語りにみる自己と社会の捉え直し―	林 知里	東京大学大学院

分科会 18（15:10〜16:40）　会場：2A309

座長：若松 養亮・本田 周二

順	発表題目	発表者	所属
1	人文学とキャリア教育の融合に向けた序論的考察 ―人文系大学院におけるキャリア教育の現在地―	松尾 哲也	大阪大学
2	目的養成学部への進路選択における職業ロールモデルの存在とキャリア・レディネスについて	石井 大貴 高須 佳奈	一般社団法人 umi 島根県立大学
3	教員養成学部生における教職勤労観と教職志望 ―勤務条件への不満は志望の気持ちを妨げるか―	若松 養亮	滋賀大学

分科会 19（15:10〜16:40）　会場：2A409

座長：神崎 秀嗣・村瀬 悟

順	発表題目	発表者	所属
1	看護師のキャリア開発 ―高度実践看護師のインタビューから―	神崎 秀嗣	秀明大学
2	実習経験は就職先選択にどのように関係するのか ― 職業訓練における保育士養成の事例から ―	川端 由美子	和歌山大学
3	農学系専攻における第一次産業関連職への就職割合推計と関連要因の検討 ―大学特性および下位専攻区分に着目して―	伊藤 遼太郎	札幌医科大学・ 関西大学大学院
4	人文学系分野における専門知の職業的機能の導出 ―企業における活用事例の分析を通じて―	才鴈 武也	流通経済大学

8. 個人研究発表（ポスター発表）

グループ A（10:30〜12:00）　会場：2A308

	発表題目	発表者	所属
1	悩みと転機をつなぐのは、性格か、スキルか―悩み保有と転機経験の有無にみる Big Five と境遇活用スキルの関連―	松本 凱斗 前野 隆司	慶應義塾大学 武蔵野大学
2	研究型総合大学における教職志望学生のキャリアストーリー再構築 ―ナラティブな対話で模索する「教職観」変容の分析をとおして―	宮原 清	九州大学
3	大学教育における生成 AI を用いた個別フィードバックの実践 ―初年次教育とキャリア教育における二つの活用事例―	松木 利憲	電気通信大学
4	座学型産学連携による地域活性化科目とキャリア科目との比較分析 ―学生の地域活性化意識の変容に着目して―	上野 恵美	下関市立大学
5	入学から卒業までのイメージ形成支援プログラム開発―作業療法士養成校を対象として―	原 悠平 深町 珠由	千葉医療福祉専門学校・県立広島大学大学院 独立行政法人労働政策研究・研修機構
6	組織の期待を背負ったキャリア支援は、何を支えるのか―女性活躍をめぐる 2 年間の研修実践から―	出射 詩予	株式会社パソナ・ 文教大学
7	ビジネスコンテスト型キャリア教育プログラムとキャリアレジリエンスの変化 ―自ら学外に参加する学生と大学学内で参加する学生の比較―	羽田 啓一郎 小林 等	株式会社 Strobolights 玉川大学
8	グローバル人材育成教育を受けた日本人学生の帰国後の職業移行 ―就職活動・職場・大学における「グローバルすぎる」留学経験の意味づけ―	上西 智子	共立女子大学・共立女子短期大学
9	大学生のロールモデル同一視に関する検討 ―出身地と文理専攻に着目して―	毎床 愛美 石川 遥至	兵庫教育大学大学院 兵庫教育大学大学院
10	デジタル・キャリア・パスポートを活用した高校生の価値観変容プロセス ―言語化・リフレクションと伴走型フィードバックに着目して―	西田 将浩	オーケス株式会社
11	思考は、本人の言語で行われる ―記述の位相変化から人物理解に至る実践と、その事例―	林 克哉	有限会社フォスター
12	成人期における友人不在に至る経路 ―30〜40 代成人の自由記述の分析―	本田 周二	大妻女子大学
13	新卒者の職務継続に必要な特性および価値観の検討―A 社の若手社員の視点から―	廣瀬 英子 城所 穂 青山 航	上智大学 株式会社エイジェック 株式会社エイジェック

グループ B（13:30〜15:00）　会場：2A308

	発表題目	発表者	所属
14	農業高校におけるキャリア教育の実践	奥平 桃子	三重大学教職大学院
15	横浜市の肢体不自由特別支援学校における進路支援の実態と課題 ―本校の実践事例を通して―	今井 裕代 俵山 政人	横浜市立上菅田特別支援学校 横浜市立上菅田特別支援学校
16	中堅教員のキャリア発達を促す研修デザインの在り方 ―研修内外の学びをつなぐ研修転移のプロセスに着目して―	平野 雅子	兵庫県立総合教育センター
17	高校生の進路意思決定プロセスに関する研究 ―Study Choice Task Inventory(SCTI)尺度を用いた検討―	中嶌 剛	帝京大学
18	実習経験・職場での経験形態がプロアクティブ行動に及ぼす影響(1) ―入職後 3 年に至るまでの縦断調査に基づく検討―	三保 紀裕 松尾 智晶 寺田 盛紀	京都先端科学大学 京都産業大学 京都先端科学大学
19	インターンシップにおける体験内容と社会人基礎力向上に係る質的分析 ―学生の研修報告及びレポート記述の分析をとおして―	向井 勝也	福山大学
20	地域移動の段階と方向によって関連する心理的側面は異なるか	森本 康太郎	京都産業大学
21	A 高等学校におけるキャリアコンサルタントによる面接指導実践報告 ―12 年間の実施を振り返って―	辻 彰彦 松下 眞治	京都先端科学大学附属高等学校 放送大学修士選科生
22	実習経験・職場での経験形態がプロアクティブ行動に及ぼす影響(2) ―長期実習経験者へのインタビューを通して―	松尾 智晶 三保 紀裕 寺田 盛紀	京都産業大学 京都先端科学大学 京都先端科学大学
23	社会的自立を支える「安心感」の土台づくり ―幼少期の愛着形成と学校における安全基地機能に着目して―	後藤 正樹	多治見市立共栄小学校
24	理容美容専門学校におけるカリキュラムマネジメントの一事例 ―必修教科課目「運営管理」に導入した「租税教室」のレリバンスを焦点に―	日高 淳	国際文化理容美容専門学校国分寺校・国際文化教育総合研究所
25	オンライン職業適性検査と AI 読み解き支援機能に関する探索的検討 ―キャリア・インサイト online（仮称）における試み―	深町 珠由	独立行政法人労働政策研究・研修機構
26	学生スタッフの経験からみる授業外キャリア教育の可能性 ―東京家政大学における自主学習スペースの策定と運営についての第三報―	並木 有希 フーパー・ダニエル・レナード リード・サミュエル・ヴィンセント 今 佑介	東京家政大学 中央大学 東京家政大学 東京家政大学